



社是
愛情と技術

Love&Technology

機械製品創造実現業

第34期経営スローガン

求められる会社になろう！！

社員に！顧客に！地域に！

価値＝求める人の数！！

どんなに素晴らしい商品を創っても活用されなければ意味がない事を知り、しっかりとニーズに対応出来る情報を集め活用してく。当たり前な事を当たり前根気強く継続し、お客様に必要とされる全社一丸の会社を目指しましょう！

そして社員一人一人が生きがいを感じ、地域を元気にする活力の源を発信していきましょう！！



ユニテック工業株式会社

経営理念

愛情ある環境の中で
創造性あふれる機械づくりを通じて
地域社会に貢献する

基本姿勢

- ・愛情をもって仲間（社員、家族、協力会社、顧客地域）と接し、自主性を育み創造力あふれる環境をつくる。
- ・常に考え行動に反映し、価値ある機械作りで感動とおどろきを与え続ける。
- ・地域社会に活力を与える会社となる。

目的理念：創造性に溢れた、価値ある機械づくり

行動理念：愛情ある行動を心がけ、助け合いの精神を育む

福利理念：全社員と家族の幸せ

ユニテック工業株式会社

3つの目標

一、誇れる最高の会社にしよう！

一、誇れる最高の職場環境をつくらう！

一、誇れる最高の技能、技術を身につけよう！



ユニテック工業株式会社

経営方針

ユニテック工業は「愛情と技術」の精神で

100年企業を目指します。

会社の目指すべき姿とは

「会社を構成する全ての人々が幸せを増大させるため」と心得精神的にも物質的にもより一層の幸せを感じるような会社を作ります。急な成長を求めず、末広がりの安定成長を目指し、永続していくことにより環境整備・雇用・納税・文化活動など、様々な分野で社会に貢献していきます。

社是を実現するための心がけ

- ・ チームとしての意識をもち、公私にわたって常に助け合おう
- ・ 創意、熱意、誠意の三意をもって、いい製品といいサービスを提供しよう。
- ・ すべてにおいて人間性に富んだ気配りをしよう。
- ・ 公德心をもち社会にとって常に有益な人間であるように努めよう。
- ・ 技能向上への探求心をもって独自の技能へと発展させよう。
- ・ それぞれの個性を生かせる環境をつくり助け合い高めあう

チーム「ユニテック」

私たちはこの会社で働くことで社会に発信しています。

1人1人違う仕事を責任もって行う事で一つの事を成し遂げています。我々は一人では何もできない事を理解し、お互いが支え合う事で社会に貢献している。

ユニテック工業という法人（生物）を動かしているのは私たちである事を理解し、自分のやるべき事を追求していきましょう！

1人1人が大切な役割を担っている事を理解しチームとして団結し世の中に貢献していく。

チーム「ユニテック」としての誓い

- 1つ 仲間のせいにしない、仲間と共に考え、成長する
- 1つ 自分の事だけを考えない、仲間の為に喜んで実行する
- 1つ 関わる全ての人の幸せを願い自身も幸せになる
- 1つ 私たちの会社をより良い会社にしていこう
- 1つ 笑顔溢れる会社にしよう
- 1つ 周りのお手本になる行動をしていこう

行動指針

I. 感動企業の実現

- 1、 愛情あふれる行動を心がけお互いの価値観を尊重し、健全な職場環境を創りあげる。
 - 2、 誰に対しても素直で正直な気持ちのよい対応をします。
 - 3、 自主的で最善な行動を見つけ出すため常に仲間のことを考える。
 - 4、 自由な意見を出し合い創造力を活かし仲間の要望以上に応える。
 - 5、 感動を与える製品づくりを行うため常日頃気遣う心を磨きあげる。
 - 6、 誠実な行動を心がけ感謝の気持ちを常にもち相手に伝えていく。
 - 7、 全社員が幸せを感じる会社を皆でつくりあげていく。
 - 8、 仲間の伝えたい事と自分が理解したことがズレていないかすり合わせ確認をします。
 - 9、 あいさつと返事は自らすすんで大きな声ではっきりと言います。
 - 10、 細かな事に気付き人に喜ばれる行動を心がけます。
 - 11、 間違いを犯した時やクレーム対応はとにかく早く表面化し誠実に対応する。絶対に隠さない！
 - 12、 思ったこと決めたことは出来る限り早いスピードで行動に移します。
 - 13、 挑戦に対して広い心で受け止め軌道修正も身軽に行う。
 - 14、 組織としての行動を心がけ伝達系統を徹底する。
 - 15、 決まった事には素直に従う。意見がある場合は会議に参加して発言する。
 - 16、 反論する時は必ず代替え案を出し、前向きな話し合いにする。
 - 17、 相手の意見を否定する時は、相手がその意見に至った経緯、思いもくんだうえで、（しっかり聞く）さらに効果的な案に変える意見を言うこと。
 - 18、 製品を使用する人の気持ちにたっかゆいところに手が届くものづくりを心がける。
 - 19、 全社員が営業マン意識をもち、サービス精神を磨き上げる。
 - 20、 どういったサービスが心地いいのかを日々考えながら生活し、意識する。
 - 21、 電話は3コール以上鳴らさない、対応者が不在と気付いた時は積極的に受話器を取り対応する。
 - 22、 約束は責任を持って必ず守り、遅れそうなときは前もって連絡します。
 - 23、 5S (VM) を正しく理解し、活動を維持、発展させる
- 整理：必要なものと不必要なものを区別して、不必要なものは処分する
- 整頓：今、必要な物を必要な時に必要なだけ、誰でもすぐに取り出せるようにする
- 清掃：仕事中に綺麗な状態を作り上げる
- 清潔：綺麗な状態を維持する
- 躰：全員が決められたことを決められたように必ず実行できるようになること

Ⅱ. 社員満足の実現

- 1、 何事にも感謝の心を持ち、おもいやり精神を常に持ち続け、向上していきます。
 - 2、 自分の得手不得手を理解し、苦手な事を克服する努力をします。また、周りはその努力に対し全面的に協力していきます。
 - 3、 思ったことは愛情を持って相手にはっきり伝え、言われた側も真摯に受け止め変わる努力をし、気持ちのよい人間関係を築いていきます。
 - 4、 感謝の気持ちを伝える言葉は堂々とはっきり気持ちのいい声で言います。
 - 5、 指摘をする時は相手と一緒に解決策を考える。
批判、中傷、言いつばなしはしない！
 - 6、 報・連・相を徹底し情報の共有をする。個人的な悩みも一人で抱えない
 - 7、 仕事の時間が楽しくなる工夫を常に考える
 - 8、 人間としての品性の向上に努めます。
 - 9、 明るく元気よく日々の生活と仕事を楽しみながら働きます。
 - 10、 仲間と声をかけあい事故を未然に防ぎます。誰もケガをさせない！！
 - 11、 家族に感謝し、家族の為に有給休暇を使える環境をつくる
 - 12、 自分の意見や憶測をいれず 5W1H で確実に伝える
 - 13、 勝手な判断で物事を進めず、5W1H で自分なりの考えや対策案を講じ、相談する
- 5W1H When (いつ) Where(どこで) Who(誰が) What (なにを)
 Why(なぜ) How (どのように)

Ⅲ. 技能向上の心得

- 1、 社員一人一人向上心を持ちそのやる気には全力で答えていきます。
- 2、 担当作業以外にも積極的に対応し多能工となり、仲間と助け合います。
- 3、 自分の持ち場の最新知識を常に取り込み技能の向上に努めます。
- 4、 先輩は常に部下への伝承を心がけ、教わる者は教えられること以上を自ら探求(タンキユウ)し独自の技能へと発展させます。
- 5、 わからない事をわからないままにせず納得出来るまで努力します。
- 6、 単純作業は敏速(ピンソク)に行動し一秒でも時間短縮を意識して作業効率のUPと製品品質向上に務めます。
- 7、 週の作業計画を意識し最低一日の作業範囲は前日に計画し全体工程の流れを考えながら行動をしていきます。
- 8、 ベテランには敬意をはらい、自分も近づけるよう努力します
- 9、 商売道具の整備をきちんと行い大切に扱います

- 10、愛情ある徹底した厳しさを共育を行ない、共に人間性を高めていきます
- 11、創造実現業として新たな価値を生み続けます
- 12、クリーンエネルギーに関心を持ち知識を深めていく

IV. 絶対品質への誓い

- 1、迷いや不安のある製品は絶対世の中に出さない
- 2、間違いを見つけた場合も間違った者を責めず一緒に解決する。
- 3、ものづくりに対して熱い想いをもち妥協をしない。
- 4、誠心誠意をもって絶対品質を維持する。
- 5、クオリティーの高いものづくりを心がけ感動を与える

V. 協力会社、地域社会との関係

- 1、協力会社との信頼関係をつくり利益の出る関係で共に成長していきます。
 - 2、売手よし、買手よし、世間よしの「三方よし」を心がけ自分だけが徳をする行動を戒める
 - 3、自然・環境の維持向上に役立つ企業でありたいと願い私生活においてもその実行を心がけます。
 - 4、平和を願い国際交流には前向きな姿勢を有します。
 - 5、地域の清掃活動には前向きに参加する。
 - 6、落ちているゴミに気づいたら率先して拾います。
 - 7、環境活動に積極的に参加し資源の有効利用を意識する。
 - 8、エコアクション活動を通じてエネルギー消費を意識し、削減していく
- 5Rの実行
- リユース（再び使用する）リデュース（ごみを減らす）
 - リサイクル（再生する）リフューズ（断る、残さない）
 - リペアー（修繕する）



ユニテック工業株式会社

GCH 向上目標 (Gross Company Happiness)

企業内総幸福

- ・ 会社の絶対的な安定（職業の安定）
無借金経営を目指します。まずは自己資本率30%達成
- ・ 給料 UP（地域で1番いい収入）
数値計画を立て目標達成の手段を考え実現させる（2020年実現を目指す）
- ・ 休日を増やす（家庭円満、趣味の充実）
効率よく仕事も進められる体制づくり。有給休暇のとりやすい環境
完全週休2日制を実現する（2020年実現を目指す）
- ・ 将来設計の出来る情報発信
将来収入と退職金の明確化、年功序列制度の実現（2025年実現を目指す）
- ・ 家族に好かれる会社
家族会を設け社員の家族同士のコミュニケーションの場をつくる
納涼例会やイベントを行う（2018年実現を目指す）
親孝行補助金制度
- ・ 夢が叶えられる会社
ひとりひとりのプライベートの夢を実現できる会社をつくる
ユニテック夢実現プロジェクト：利益の5%を社員の夢実現に投資する
- ・ 生涯現役
年をとっても出来る仕事を作り定年廃止を目指す
それぞれの個性を生かした採用・就労条件設定・適正配置・
作業割当を行う



ユニテック工業株式会社

事業発展計画（ビジョン）

2025年 41期

社外への対応目標

資源の少ない日本国の、エネルギー自給自足に大きく貢献するものづくりに機械メーカーとして関わり、無くてはならない会社となる。日本のエネルギー事業に大きく貢献した後は、世界の環境活動に日本の技術を広め、資源枯渇問題に関わりながら、培った技術力で貢献し、自然にやさしいものづくりを実現する。

社内での活動目標

2036年 52期の代表交代を意識して、社内又は社外（身内も含む）から後継者を見つけ、育てる。組織の更なる強化を目指して、幹部社員教育の強化と、経営資質を学んでもらう。
夢実現プロジェクトの成果を社員一人一人が出しながら新たな夢を持てる会社となる

目標を達成するため必要な会議

1. 役員会議：会社全体の方向性を決定する（人、もの、金の采配）
2. グループ会：各グループのグループ長が集まって行う。
職場環境と技能技術の向上を計画検討、実行を行っていく
3. 各委員会活動（実行委員はグループ長が兼任す）
4. 営業会議（月1回）営業情報の共有
5. 役員合宿（年1回）幹部社員のベクトルを統一する

2018年（H30年）34期

社外への対応目標

代理店との繋がりを深めて全国の情報が集まる状態をつくる。
製鉄、自動車設備業界の情報を全社員が共有する為、データ化する。
新事業（エネルギー分野）に攻めていく（発電機等）

社内での活動目標

もの探しゼロに向けて整理整頓が隅々まで行われている状態を作る
掃除を徹底して行き綺麗な職場を維持、発展させる。
各部署の目標設定が明確に行われ、計画的に達成できる状態を作る

2019年（H31年）35期

社外への対応目標

全社員が製鉄、自動車設備業界の知識と電動シリンダ、テーブルリフターの知識を持ち、かゆいところに手が届く対応を行う。
全国の製鉄所、自動車整備に関わる企業への人間関係構築活動を行う
新事業の実現と商売の流れを地域内で作り始める。

社内での活動目標

各部署の目標を更にレベルを上げて計画的に実現していき、各担当者がやりがいを持ち、イキイキとした職場の雰囲気が充満している状態をつくる。

2020年（H32年）36期

社外への対応目標

駆動機部門は製鉄所内向け実績、国内トップとなる。
リフターは自動車設備業界でのシェア国内トップとなる

社内での活動目標

健康的で楽しい職場環境をつくり、全社員一丸体制を実感する。

〔5〕 各グループ長の方針

営業技術部門

部長方針:リフター部門、電動シリンダ部門と別れているが中間部門(特殊物を扱う)を作りリフターにかかっている設計負荷を軽減する。

見積対応を短縮するための対策を考え実行する

1Gr

課題:手配忘れ(特にピン類、ブッシュ類、シリンダ)、作図遅れ

見積対応が現状部長1人、工程確認、認識、流れの把握、製作タイミング

対策:ピン類等のセット図面の作成(ピン、ボソ、ローラー)パターン図を作り

図面から手配する→調達へ

見積作成のパターンを作って見積作成(①実績から)②見積作成ソフトを導入
ソリッドワークス導入(村上君)一長一短使えるまで時間がかかる

2Gr

課題:①見積回答のスピードUP ②修理シリンダデータまとめ(実績表)

③作図間違い ④産業機械の仕事量 ⑤HPの活用 ⑥売上目標を倍にする

対策:①見積価格表作成、HP活用

②2011年まであるので2017年まで完成させる

③チェック表の活用と第三者のチェック

④リフター検討クワダさん、ピットジャッキ安松君→工程をLGrに伝える

⑤外形図CAD化のデータ改正

調達部門方針

① 調達部の安定化を図る、今の仕事の流れを4人で把握する

テクノアー一本化 手書き発注をなくす、リフターの図面を見れるようになる

納期が先で仕様の決まっているフロアリフトから手配の経験して行く

② 在庫管理

倉庫の整理整頓を徹底して2ヶ月に一回棚卸しが2時間できる状態を作る

③ 工程管理

現場のホワイトボードを活用して設計と製造がお互いの状況を把握できる状態

を作る

3、4Gr

・外作、内作への理解と情報共有 ・誰が休んでも困らない体制づくり

・在庫の明確化 ・メッキロッドの管理のためリフター指示書のコピーをもらう

製造部門方針

現状を更にスキルアップしていく、クレームなどは行ってもら

製造で必要な機械を決める

5Gr

課題:加工場が狭い、レイアウト変更で広げたい。計測器、工具などの整理

ラジアルが入ってくるので場所の確保

新入社員の渡辺君を育成する(まずはボール盤をしてもらう)

修理、組立等の仕事をしていると加工が止まってしまう

対策:工場を広げる、3S 活動で計測器、工具などの置き場を考える、

塗装場の材料の置き場を考える。

工程を考えて加工をするか修理、組立をする NC フライスのカバー製作

6Gr

第 2 工場をもっと活用する→人員配置を考える

油圧シリンダ製作を高垣君から横山君に担当を変える(すぐに実行)

油圧ユニット製作→長田が岡崎さんに指導してもらう、1 人担当を増やす

(工程が落ち着いたらすぐ実行する 4 月頃)

現場から設計への工場の空き状況を伝える(アプローチする)

7Gr

課題:①前倒し作業をして時間を作る ②三菱 PBB、2t の時間短縮

③油圧シリンダ組立、ユニット製作

対策:①同じような型式のシリンダをまとめて組立する ②外観にあまり手をかけ

ない

③前倒しして油圧シリンダ、シリンダ修理(DP 番)の作業をする



ユニテック工業株式会社

朝礼（最長10分）

司会者は順番

井上、植田、栗田、高垣、竹下、長田、姫治、
平川、村上（敏）、村上（裕）、安松、横山、桑田(ユ)

8時開始

「〇月〇日〇曜日、只今より朝礼を開始致します、気をつけ、礼
第34期経営スローガン:「求められる会社になろう～社員に顧客に地域に！！」

全員「求められる会社になろう～社員に顧客に地域に！！」

1. 経営理念、基本姿勢 唱和（皆で）
2. 3つの目標を全員で唱和
3. 経営方針朗読（社長）
4. 「職場の教養」朗読（司会者が朗読）
5. 司会者が行動指針の1つ読み上げた後全員で続きを読む
6. 事業発展計画を朗読（読む人は明日の司会者）
7. 司会者の一言（1分）
8. （土、役員不在）会長、（月、水、金）社長、
（火）松本部長（木）釜本部長の一言（1分）
9. 各グループ、本日の作業内容（各30秒）
10. 会長、本日の予定
11. その他連絡事項
12. 終了「それでは本日も安全に作業を行いましょう」
解散



ユニテック工業株式会社

セブングループ

グループ会は月に2回行う

グループ長は委員会メンバーでもある

会社の細かい活動はグループ会で決めるので、会社のやり方、方向性に異論がある場合はグループ会に参加し発言する。

グループ会は幹部社員以外は自由参加で上司の許可を得て参加することが出来る。

